



○民族と宗教！それが左右する「国（家）のあり方」！ ○「どうせくだから」から「そうだったのか……」へ

改めて、21世紀になっても、賢い人類（ホモサピエン）スが克服出来ないものがある！それが、まさに「民族（人）というものがある！ここでは、これについての紹介をする種」が織りなす諍いである！もちろん、そこには、人々 つもりはないが、今まさに、このリミット・ブレーカー（制民族）人種 が住む「土地（国土）」の有無とか、それら 約を解き放つもの）が、各般において必要になっていることが信奉する宗教（宗派）が大きく絡んでくるが、その存在は、火を見るよりも明らかとなっている（これまで気付いていなかったことを、改めて知らされる機会となっている！）！言状況が、常に、世界全体や各地域での諍い（紛争や侵略や殺戮）の元凶となっているということである！別言すれば、自分達の利害の創出と保持のために、他勢力（国や民族）を侵略したり、攻撃したりすることである！

もちろん、これは、人類（生物）がもつ生存本能の発露（もろろん、これは、人類（生物）がもつ生存本能の発露）とも言えるものでもあるので、ある意味では仕方がないのかもしれないが、しかし、一方でまた、そうした諍いの歴史の中で、人々（人類）は、その苦しみと反省の下に、そこでの調整と再発防止のための動きやしくみづくり（英び？かもしれないが、みなが本気で、それに立ち向かう勇知）を行って来た（多くの不備や矛盾を抱えながらも）現在

の「国際連合」は、まさにその最たるものである！！だが、それだとして、残念ながら盤石なものとはなっていない！「国際ルール」とか「国際法」とか、様々に取り沙汰されても、一部の国（大國／強國？）によって、それらは、いと簡単に破られてしまう！最近では、それが、顕著ともなっている！何とも空しい現実であるが、それが実体なのであるから、それを無視（棄観視？）することは出来ない？ そんな中、我々のような、多くの無力な一般市民は、これからの世界のあり様をどのように見て、どのように関係していけばよいのか？一方で、地道で、誠実な対応を、各自（国）がなしていけばよいのであるが、結局は、それを潰すものがある？それが、ある特定の国の、国連の安全保障理事会での「拒否権」であるが、事の本質は、それぞれの国における民族（人種）、宗教、経済状況にある！そして、その地政学的な関係もあり、その整合はなかなか難しい！！だが、いずれにしても、それを乗り越えるのは、やはり、それぞれの「国家」である！それを、忘れてはならない！

〈特別コーナー〉堂本彰夫の古代史旅枕74〉

○次に、「建国物語」を見てみる？その4 ところで、ここでは、北部九州にあった「倭（倭）国」や「伊都国」、そして、「邪馬台国」や「狗奴国」の動き（開化）孝元 孝蓋 孝安 孝昭等の事跡を追う前に、近畿・大和における第10代「崇神天皇」の事を処理しておきたい！「記紀」では、まさにここからとなく（本当は、吉備を経由して）「大和」に出現し、それ以前に君臨していた「天照大神」と「大和國魂神」(勢力)を駆逐し、その後、いわゆる「四道將軍」を全国各地に派遣し、大和を中心とした統一国家を作り上げたように示されている！だから、彼を、第10代であつても、最初の（別言すれば事実上の）天皇というような位置付け（尊称）をしているわけでもある！ちなみに、初代の「神武天皇」(おそろく、第15代の「応神天皇」から虚構された)も同じ「ハツクニシラスメラミコト」という称号を与えられているが(漢字自体は異なっているが)、話の都合上、そのようにせざるを得なかったのではないかといいことである！

さて、この「崇神天皇」については、もう一つ重大な事跡(秘密?)がある！それが、三輪山の神「大物主神(蛇神)」が祟つたという話である！即位後まもなく大変な「疫病」が蔓延し、多くの人民が命を失くしたということであるが、その原因が、「大物主神」をないがしろにしたために、その神が祟つたということであるらしいが、その子孫「大田田根子／多直根子」(大輪氏)「多氏」に、その御霊を祀られば、その疫病は収まるといつことであつた！そこで、その子孫「大田田根子／多直根子」を、河内？「陶」邑で見つけ出し、大和の三輪山(大神神社)で祭祀を行わせたところ、その災いが消えたというのである！「崇」と「崇」の違い？実際は、三輪大神(大物主)に「祟られ」ている！しかし、事実上の始祖王とはされている！これは、どういふことを暗示しているか？

なお、私は、応神(8)神功皇后、崇神、神武の、言わば「トリプルスピ」が、我が国建国史の土台を示しているのではないかと疑っている！さらに言うと、その後の継体以降の皇統(おそろく百済系)が、それに乗せられている！そして、そのエンディング(クライマックス)が、「天智系」と「天武系」の相克(壬申の乱等)だということである！(つづく) (堂本) (編集後記)「未回収の伏線を回収する旅」も終わった！大型連休は始まったが、さほど高ぶるものはない(笑)!! (井上)堂本

・ 近づく「後期高齢期」！

我が「岳陽」は、そこで如何にある？  
かの青春時代、時を経た再会のためにあつた？  
それが、未回収の伏線を回収する旅と!!

・ 国と国の関係、何を見極め  
何を大切にすべきか？ 短慮はダメ！

・ 未来に横たわる 民族と宗教の力！  
人類は、そのあり様に如何に対処する？

・ リミット・ブレーカー！ 求められるのは  
まさにそれ！ ただそれは自らの内にある？